

第6回 気象サイエンスカフェ沖縄 台風研究の最前線



2024年2月17日(土)

15:20~17:00 (開場15:00)

ゲストスピーカー

坪木 和久

名古屋大学 宇宙地球環境研究所教授

横浜国立大学台風科学技術研究センター副センター長

坪木和久さんは、日本人として初めて、台風を中心付近の気圧・気温等を直接観測する航空機観測を成功させ、台風の予測精度の向上に大きな期待がもたれています。ぜひ、台風研究の最前線と一緒にお話してみませんか？

ファシリテーター

佐藤 沙代子

NHK沖縄 おきなわHOTeye 気象予報士



(c) 2017 Hiroyuki Yamada

共催：(公社)日本気象学会沖縄支部、(一社)日本気象予報士会沖縄支部、沖縄気象台

会場／P's SQUARE C会議室 (5階)

定員50名 無料(事前予約)

無料駐車場あり

お問い合わせ、事前予約

気象学会事務局(沖縄気象台内)

TEL: 098-833-2186 Mail: sciencecafe@msjok.com

(予約内容:代表者氏名、連絡先、参加者全員の氏名)

詳細はこちら



第6回 気象サイエンスカフェ沖縄

サイエンスカフェは、科学者などの専門家と一般の市民が飲み物を飲みながら、科学などの話題について気軽に語り合う場です。

今回は、日本人として初めて台風を航空機で直接観測した台風研究の第一人者による、最新の台風研究についてお話いただきます。台風観測の研究成果から台風について分かったことや、毎年沖縄にやってくる台風について、皆さんでテーブルを囲み、お茶を飲みながら楽しく語り合いませんか？

日時：令和5年2月17日（土）（入場無料） 定員50名

15:20～17:00（開場15:00） 事前予約！

場所：P's SQUARE C会議室（5階）（沖縄県浦添市西原2-4-1）

（浦添市広栄交差点から宜野湾市嘉数交差点向け 徒歩4分）



ゲストスピーカー：

坪木 和久（つばき かずひさ）

名古屋大学宇宙地球環境研究所教授

横浜国立大学台風科学技術研究センター副センター長

～プロフィール～

名古屋大学宇宙地球環境研究所教授、兼、横浜国立大学先端科学高等研究院台風科学技術研究センター副センター長。理学博士。専門は気象学。北海道大学理学部卒、同大学大学院理学研究科中退、日本学術振興会特別研究員（北海道大学低温科学研究所）、東京大学海洋研究所助手、名古屋大学大気水圏科学研究所助教授、名古屋大学地球水循環研究センター助教授、准教授、教授を経て2015年より現職。2021年より横浜国立大学教授を兼任。台風や豪雨を主に研究。数値シミュレーションと共に、航空機を用いた台風の観測を行っている。著書に「激甚気象はなぜ起こる」（新潮選書）。令和4年度文部科学大臣表彰 科学技術賞授賞。



ファシリテーター：

佐藤 沙代子（さとう さよこ）

NHK沖縄放送局気象キャスター（気象予報士、防災士）

～プロフィール～

福岡県出身。横浜国立大学卒業。2015年から沖縄で生活し、沖縄の空に魅入られて気象予報士の資格を取得。2022年4月からNHK沖縄「おきなわHOTeye」に出演中。

「去年の台風6号では自宅が停電し、暴風によって外壁のアンテナがぶら下がった状態に…沖縄での台風を経験して、台風の概念が大きく変わりました。」

事前予約方法

下のいずれかの方法で（参加者全員の氏名、連絡先）をご連絡ください。

気象学会事務局（沖縄気象台地域防災推進課） ※平日の日中のみ

電話：098-833-2186

メール：sciencecafe@msjok.com